

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）			教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）			入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）		
<p>武庫川女子大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程看護学研究保健師コースでは、本学の定める修業年限以上在学し、「MUKOGAWA COMPASS」に基づく次のような能力・資質を備えた上で、62単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見を聴いて、学長が課程修了を認定します。課程修了が認定された者には、修士（看護学）の学位を授与します。</p>			<p>武庫川女子大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程看護学研究保健師コースでは、本専攻の定めるディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような経験知を理論知に進化させる学年積み上げ方式の教育の方針に基づき、①論理的思考力、②研究能力、③問題・課題の発見・言語化能力、④広い視野での考えに基づく発想力を育成するカリキュラムを編成します。</p>			<p>武庫川女子大学大学院看護学研究科看護学専攻修士課程看護学研究保健師コースでは、「立学の精神」と「MUKOGAWACOMPASS」に共感し、これらに基づいた、本専攻のディプロマ・ポリシーを理解したうえで、本専攻のカリキュラム・ポリシーに則した教育課程を学ぶために必要な、以下に掲げる学力と意欲を有する人の入学を受け入れます。</p>		
<p>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素（知識・姿勢・行動）および8項目</p>			<p>MUKOGAWA COMPASSに対応するディプロマ・ポリシーの項目</p>			<p>武庫川女子大学人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」の3要素</p>		
知識	1	多様化・複雑化する社会を理解する力	1	社会の変化に対応した看護を推進するために必要な幅広い教養や経験知に基づく理論知を修得している。	<p>1. 「共通教育科目」は、学生自身の問題意識や課題に関して、より広い視点から看護の課題を検討することができる「専門基礎科目」と、看護学と近接し関連する科目を開講する他の研究科・専攻（臨床心理学専攻、臨床教育学専攻、健康・スポーツ科学専攻、食物栄養学専攻）での開講科目を履修可能な「関連科目」として編成します。関連科目では、豊富な科目の中から疑問を追求するのに関連する幅広い知識を身につけることができます。また、指定規則に定める「公衆衛生看護学」「疫学」「保健医療福祉行政論」に関する科目も含まれます。</p> <p>2. 「専門教育科目」は、主に制度・施策と看護との関係について理解し様々な健康状態にある対象への看護上の課題に取り組む「広域実践看護学領域」に特論、演習科目を配置し、「看護学総論」では、幅広く対象や看護をとらえる上での基盤となる考え方や、人々の健康を支える専門職や地域住民のチームにおけるメンバーシップやリーダーシップについて学び、「看護学特論」では自身の専門と関連の深い分野の理論と実践に関する知識や理解を深めます。共通教育科目での学びや看護実践での経験知も踏まえ、個人の体験と疑問に関連した幅広い知識を修得しつつ、「看護学演習」においてそれらの知識を統合し、研究疑問へと洗練していけるような教育内容です。</p> <p>3. 「特別研究」は、研究の中核となる科目であり、専門教育科目や「公衆衛生看護学科目」を通して明らかとなった研究疑問に基づき、指導教員の研究指導を受けて、研究計画の立案からデータの収集・解析等を経て、学位論文としてまとめる内容です。その能力は、地域の健康課題を科学的・論理的思考に基づいて解決する能力となり、施策の企画、立案、実施および評価等の自らの実践能力の向上につながります。</p> <p>4. 「公衆衛生看護学科目」は指定規則に定める「公衆衛生看護学」「保健統計学」および「公衆衛生看護学実習」の教育内容に関する科目を配置します。保健師の国家試験受験資格を得るための総単位数は31単位ですが、本研究科では実践力を高めるため実習単位を1単位増強した32単位とします。</p> <p>5. 教育評価 各科目の学修成果の評価は、あらかじめ評価指標を明示し、適切・公正な評価を実施します。また、教育課程の評価については修了年次に提出する修士論文をもって教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	知識	社会を理解し、看護学に関する高度な研究能力を身につけるために必要な基礎学力を有している。	
	2	“生きること”につながる専門性	2	人の生命と生活に関する幅広い専門知識を修得している。			姿勢	自他を尊重し、失敗を恐れず挑戦するしなやかな姿勢を身につける意欲を有している。
姿勢	3	自他を尊重する姿勢	3	自らの価値観に向き合いながら、すべての人々が個人として尊重されるべき存在であることを理解したうえで、責任感をもって実践・研究できる。		社会的な視野に立って、人々の健康と福祉の向上ならびに看護学の進展に寄与したいという意欲を有している。		
	4	失敗を恐れず挑戦する姿勢	4	看護実践、看護教育、看護研究の発展に寄与するように、試行錯誤しながら、自らの実践を向上させようとする意思・意欲を持っている。		地域住民の健康に関心を持ち、健康課題の明確化とその解決に向けた実践を通して、保健師として社会に貢献する意欲を有している。		
	5	逆境や困難に対応するしなやかな姿勢	5	社会の変化に伴い生じる様々な看護上の課題に柔軟に対応するためのしなやかな姿勢を身につけている。		行動	自ら考えて表現すること、新たな価値を創造し、多様な人々と協働することへの意欲を有している。	
6	論理的に考え伝える力	6	看護実践の場で生じている課題を科学的・論理的思考を用いて解決する方法を見出すことができる。	自身の経験知をもとに、柔軟な思考で考えを発展させて自身の問題意識や課題を表現できる。				
7	新たな価値を創造する力	7-1	看護実践の場で生じている課題の解決・改善に向けての研究を実施し、公表することができる。	行動			実践を通して課題を見だし、改善や発展に向けて、研究的視点を持って課題を追究していこうとする意欲を有している。	
		7-2	複雑困難化している健康課題へ対応できる。					
7-3	地域の健康課題を解決する方策を探究し、施策の企画、立案、実施および評価を行うことができる。							
8	多様な人々と協働する力	8	人々の健康を支えるチームにおいて、多様な人々と建設的な関係を築き、メンバーシップを発揮するとともに、リーダーとして、メンバーの役割を尊重し、メンバー間の協働や連携を促進することができる。					